

公の施設の経費負担に関する検討状況について

1 報告の概要

公の施設の経費負担のあり方の検討にあたっては、市としての基準が必要であり、本基準の策定に向けて、施設の利用状況や満足度、経費負担のあり方などについて、市民意見等を聴取した上で、検討を進めている。

今回は、オープンハウス、ワークショップの結果を報告するとともに、議会や有識者から頂いたご意見等を踏まえ、一部スケジュールを見直したことから、その内容を報告する。

2 オープンハウスの結果

(1) 実施期間 令和6年12月11日(水)～21日(土)

(2) 実施場所 市内各区 10か所 (平日・土日 各1回)

・西区	西部文化センター	・桜区	プラザウエスト
・北区	プラザノース	・浦和区	中央図書館
・大宮区	大宮図書館	・南区	サウスピア
・見沼区	春野図書館	・緑区	プラザイースト
・中央区	与野南図書館	・岩槻区	ワツツ西館

(3) 実施概要

○パネル展示等により、公共施設を取り巻く状況や市民アンケートの結果、

料金設定の状況を説明

○職員からパネルの内容について説明したのち、料金の差の要因について、

アンケートを実施

参考 主な展示パネル

Point 1 公共施設を取り巻く状況

Point 2 市民の皆様のご意見

Point 3 公共施設の料金設定

参考 主な展示パネル（つづき）

ポイント3 市内の主な施設と料金（イメージ）

・ 人が「集う」施設

さいたま市には、コミュニティ活動、生涯学習活動等のためにご利用いただける場所として、こじまセキや生涯学習総合センターなどの施設がございます。

こじまセキは、市内に20ヵ所、生涯学習総合センターは、市内に2ヵ所に设置されているほか、無料の施設として公民館などを設置されています。





・ 「教養を深める」施設

さいたま市には、技術入門などの知識講座について理解を深めの場所として講習室や会議室が設置されているほか、文化芸術の鑑賞会や活動の場となる施設として文化センターなどの施設が設置されています。

市の文化芸術施設は、市内に3施設あります。文化センター、美術館などは市内に10箇所設置されているほか、入館料無料の施設として市立図書館なども設置されています。





参考 市内の主な有料施設の配置（市内）

オープンハウスを実施している施設の近くにも、様々な施設があります。





（4）実施結果

○意見聴取件数 256 件

○料金の差の要因についての“主な意見”

- ・ 公共が担う必要性に応じて、料金差を設けるべきではないか。
- ・ 生活に必須であるかの視点で、料金差を設けるべきではないか。
- ・ 民間施設との代替可能性の有無により、料金差が生じるのではないか。
- ・ 余暇的・目的や利用者が限られる施設は、利用者の負担を大きくしても良いのではないか。
- ・ 設置目的により料金差が生じるのは普通と感じる。
- ・ 公共施設を利用する場合に、利用の目的が同じであれば、他の同種施設と同一料金が望ましい。
- ・ 高齢者や子ども、障害のある方への配慮も必要ではないか。
- ・ 公共施設を利用する場合に、利用する団体の性格の違いにより、料金差があっても良いのではないか。
- ・ 公共施設の料金は、民間施設よりも安価な価格設定が望ましい。
- ・ 設備の充実度の違いにより、料金差があっても良いのではないか。

3 ワークショップの結果

- (1) 実施日 令和6年12月22日(日)
(2) 実施場所 浦和コミュニティセンター
(3) 実施結果

○参加者 28名(午前15名・午後13名)

○グループワークの内容

「利用施設について普段感じていること」

「どのような料金の“差”であれば、納得できるか」

○グループワークの“主な意見”

- 施設の料金が安価であることは、良いと感じている。
- 施設の料金差が生じることは、理由次第で納得ができる。
- 人気の高い施設であれば、利用料金が上がったとしても、利用率に大きく影響しないのではないか。また、本事由により生じる料金差は、納得しやすいのではないか。
- 施設の利用方法や経費負担の状況などについて、市から積極的に情報発信(PR)することが、課題ではないかと感じている。

4 今後のスケジュール

議会や有識者から頂いたご意見等を踏まえ、“より丁寧に検討を進めること”を目的として、令和6年9月にご報告したスケジュールに「施設管理者や利用者へのアンケート」、「骨子案作成及び作成後の市民意見聴取」を追加した。

なお、骨子案作成後の市民意見聴取までに、当該概要について、議会へ報告することを予定している。

参考 スケジュール（変更案）

